

愛知大学 3つのポリシー（2020年度向け）

■国際コミュニケーション学部 英語学科

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

国際コミュニケーション学部では、様々な国や地域の人々、また、多様な社会・文化背景をもつ人々とコミュニケーションをとり共生できる能力を身につけ、地域内でも国外でもお互いを尊重し理解を深め合える柔軟な人材の育成に努めています。

そのために、英語学科の学生には、言語のみならず文化や歴史など広い視野に基づく教養と専門知識を身に付けるとともに、真の異文化理解に繋げることができる国際感覚もみがくことを求めます。

履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数およびコース別の履修要件等をすべて満たし、厳格な成績評価と「卒業研究」の審査を経て、総計124単位以上修得した上で、以下の能力や知識を有すると判断された学生に対し、学位を授与します。

- (1) 学術論文・レポート（或いは研究ノート）を英語で執筆することができる。
- (2) 学術的な報告と質疑応答を英語で行うことができる。
- (3) 英語の文献を正確に理解し、資料として利用することができる。
- (4) 英語・日本語を問わず、高いプレゼンテーション能力を発揮することができる。
- (5) 学術・教育・ビジネスにおいて、実践的に英語を運用することができる。

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

国際コミュニケーション学部英語学科では、高度な英語運用能力と言語文化に対する深い理解を基礎に、異文化に関心をもち、国際社会において世界の人々と対等に渡り合えるコミュニケーション能力を持つ人材養成を目的としています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。

- (1) 共通教育科目には、幅広く深い教養と総合的な判断力、そして豊かな人間性と倫理を涵養するよう科目を置いています。また、多文化状況を生き抜くための外国語の科目を配置し、学生は第1外国語（英語指定）および第2外国語を履修します。
- (2) 専門教育には、外国語学習の基礎及び文化的背景を理解し、国際的なコミュニケーション能力を身につけるための視野を広げる「基幹科目」、外国語に関する専門的言語能力獲得のための「外国語・展開科目」、より深く言語を理解し、関連するテーマについての研究を展開するための「演習科目」を配置しています。2年次より「Language Studies」、「Business」、「Education」の3コースに分かれ、それぞれのコースの専門教育科目から10単位を必修選択しますが、他コースの専門教育科目も履修できるため、幅広く英語の専門教育科目を修得することができます。これにより、高度な専門的言語能力を育成し、言語を深く理解することにより、卒業後、それらを応用的に展開していくための能力を養い、国際人として自己を形成していく基礎力を育成します。

入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）

国際コミュニケーション学部英語学科では、英語圏の言語であると同時に国際共通語の地位にある英語の高度な運用能力の習得を柱に、言語、文化を深く学びます。高校で学んだ英語の基礎知識をもとに、双方型の少人数授業を通してコミュニケーション能力を身につけることに重点を置いています。

言語に対する深い理解、異文化間コミュニケーション、日本文化に対する知識、海外研修・国際フィールドワークなどを通して、多様な国際社会で互いを尊重し、高度な語学力と判断力を持って世界の人々と対等に渡り合えるコミュニケーション能力を持つ人材の育成を目指しています。

このような観点から英語学科では以下のような学生を求めます。

- (1) 英語をはじめとする外国語の習得に強い関心と勉学意欲を持っている人。
- (2) 異文化理解に関心をもち、異文化体験を通して視野を広げたいと考えている人。
- (3) 英語を通して国際貢献・社会貢献をしたいと考えている人。
- (4) 企業の海外事業や国際流通部門、航空業界、旅行会社等、高い語学能力と国際理解力が必要とされる職業に就きたいと考えている人。
- (5) 英語教師となり地域社会と教育の分野に貢献したいと考えている人。